

情報公開文書

課題名 : Dual Energy CT による骨折診断率の変化
研究期間: 倫理委員会承認日～2025 年 12 月 31 日

1. 研究の対象

2021 年 5 月 1 日～2022 年 6 月 30 日の期間に、脊椎骨折または股関節周囲骨折を疑われ画像検査を受けられた方。

2. 研究目的・方法

単純レントゲン写真や CT 画像で診断が困難な骨折の評価には、現在は MRI が用いられていますが、MRI は施行に時間がかかり、ペースメーカーのある患者や長時間静止が困難な患者では実施することが難しく診断が遅れることがあります。近年、骨折の描出に dual energy CT (以下 DECT) が有用であるとの報告がされていますが、未だ報告は少なく、有用性に関するデータは不足しています。本研究では、DECT を用いた、椎体骨折や股関節周囲骨折の診断率を調査し、DECT の有用性に関して調査します。

対象は、2021 年 5 月～2022 年 6 月に DECT を施行された患者さんです。MRI での診断確定も行いますが、早期診断のために DECT での撮影を行います。診療のために撮影した画像を整形外科医師と整形外科を専門としていない医師がそれぞれ画像を確認し、診断が可能かどうか調査し、その診断率を調査します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、原疾患の情報、年齢、性別、レントゲン・DECT・MRI の画像情報、等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への情報提供はありません。

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、ご住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。
また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター 整形外科 小林 祥、森田 大悟、朝本 学宗
住所: 〒 432-8580 静岡県浜松市中区富塚町 328 Tel: 053-453-7111

研究責任者: 浜松医療センター 副院長・整形外科部長 岩瀬 敏樹

2021 年 9 月 6 日作成